

語ろう！変えよう！地域の未来！東紀州若者交流会 報告書

1. **開催日時** 平成29年12月13日（水） 13:00～15:30
2. **開催場所** 三重県立尾鷲高等学校 特別棟2階 総合演習室
3. **参加者** 計51名
尾鷲高校生20名（1年5人、2年10人、3年5人）、尾鷲市5名、
紀北町6名、尾鷲商工会議所1名、地域おこし協力隊4名、
尾鷲市観光物産協会2名、紀北町観光協会1名、尾鷲高校教職員4名
紀北はまち座8名

4. 目的

東紀州は人口減少が著しく、少子高齢化や過疎化が急速に進んでいる。このような状況を打開するには、今まで以上に若い世代の活躍が期待され、各主体が連携する必要がある。紀北地域の次代を担う尾鷲高校生と、県市町、商工会議所、地域おこし協力隊、市町観光協会、尾鷲高校教職員が交流を図り、東紀州地域の課題解決に取り組むきっかけにするとともに、高校生が将来地域で活躍する可能性を広げることを目的とする。



5. 講演会概要

今年度は、尾鷲高等学校のOBであり、地元地域で活躍中の【尾鷲商工会議所総合委員会実行委員長 小倉 裕司 様】を講師に招き、『人々の交流（催し）を通じた街の活性化』等をテーマに講演会を開催した。

「当たり前」の反対は「感謝」であるという自身の気づきを初め、Uターンを経験する前と後での地元地域に対する思いの変化、これから築いていきたい地域像等についてお話しいただいた。

また、物事の取組に対する心構えについても語っていただいた。なにかを行おう

とすると「失敗したらどうしよう」という気持ちが生まれてくるが、物事に取り組んでみるとたくさんの人々が援助してくれることに気付く。勇気を出して一歩踏み出すことが大事である。と高校生ひいては参加者全員へエールを送っていただいた。

6. グループディスカッション概要

講演会終了後、以下、4つの議題に沿ってグループディスカッションを行った。普段関わることの少ない様々な立場の者が集まって交流したことで、多くの気付きを得ることができた。

①講演の感想及び参加者意見

- ・講師の方は一度尾鷲から出て行ってからまた地元に戻ってきたとのことなので、出て行った人がまた戻ってきやすい街にするのが大切だと思った
- ・チャレンジ精神を持っていきたい
- ・感謝を大切にしたい

②東紀州の誇れる点

- ・地域の団結力
- ・自然豊か
- ・地域性による独特の文化がある

③東紀州の改善すべき点

- ・他地域の人にとって入店しやすい飲食店が少ない。
- ・娯楽施設が少ない
- ・地域の人々の危機感が薄い

④東紀州を盛り上げるための取組案。

- ・従来の紙媒体はもちろん、SNSを積極的に活用し、情報発信力を強化する
- ・既存資源を活用し、遊び場を増やす。例、熊野古道アスレチック、釣りツアー
- ・地域の文化の保存強化を図り、また、機運醸成のための教育を行う



7. 講評概要

尾鷲市副市長、尾鷲高校校長、紀北地域活性化局長から講評をいただいた。

- ・高校生にとっては地域を出てみないとわからないこともあったと思うが、もし今後、尾鷲の魅力を語る機会があれば、今回の経験が参考になる
- ・お金を出すのは難しくても、知恵なら出せる筈なので、いろいろやってみるとよい
- ・今回の交流会を、何かをやるきっかけ、繋がりきっかけとしてほしい

8. アンケート結果（抜粋）

○また参加したい？

参加したい…20名、やや参加したい…14名、どちらともいえない…6名

やや参加しなくない…0名、参加したくない…1名、未回答…1名

○高校生の感想

- ・地域の魅力について改めて感じる事ができた。この経験を大学でも活かしていきたい
- ・この地域の現状がよくわかった
- ・地域について考えるきっかけとなってよかった
- ・大人の観点、他地域からの観点による考えを知ることができた
- ・北部から人を呼び込む必要を感じた

○若者の感想

- ・行政職員が気づかないことに高校生と話すことで気づけた
- ・尾鷲に暮らす若い世代が地域に対してどのような感想を持っているか知ることができてよかった
- ・高校生のしっかりした意見を聞いて希望をもてた
- ・今後の連携がしやすくなるので、若手同士の交流会は必要である
- ・成功を信じて、一歩踏み出していこうと思った。